

十和田市事務事業評価シート

【事務事業の概要】

整理番号	7	実施計画番号	115
事務事業名	十和田市観光駐車場整備事業		
個別事業名		事業開始年度	平成22年度
担当課名	管財課	事務の種類	自治事務
根拠法令等		関連事務事業	
背景や経緯等	総合的な観光振興の推進のため		
事務事業の目的	ホスピタリティのある観光づくりのため		
実施状況	官庁街通りは様々なイベントが年間を通じ開催されているため、イベント時に利用できる観光客用の駐車場を整備した。		

【人件費の推移】

		22年度実績	23年度実績	24年度計画
正職員	従事者数(人)	1	1	1
	活動日数(日)	66	50	12
	人件費(千円)	2,376	1,800	432
正職員以外	従事者数(人)			2
	活動日数(日)			240
	人件費(千円)			3,648

【事業費の推移】

	22年度実績	23年度実績	24年度計画
事業費合計(千円)	92,933	71,170	0
うち一般財源	1	10,370	
うち国県支出金	92,932	60,800	
うち地方債			
うちその他			

【指標】

活動指標	活動指標名①	整備費用				
	計算式等	単位	22年度実績	23年度実績	24年度計画	
		円	92,933	71,170		
	活動指標名②					
	計算式等	単位	22年度実績	23年度実績	24年度計画	
成果指標	成果指標名①	現有駐車台数				
	計算式等	単位	22年度	23年度	24年度	
		台	目標値	640	640	
			実績値	263	640	
			達成度(%)	41%	100%	
	成果指標名②					
	計算式等	単位	22年度	23年度	24年度	
			目標値			
		実績値				
		達成度(%)				

十和田市事務事業評価シート

整理No	7
計画No	115

【担当課による検証】

ポイント		検証	評価	点数	合計	検証の理由	
妥当性	① 市民ニーズ等から見る妥当性 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか	A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている	A	2	4	存在意義の見直しの余地 0 / 4	
	② 実施主体である妥当性 行政が実施することが妥当か(民間と競合しているか)	A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない	A	2		市民が活用する公共用施設として整備されるべき事業であり妥当である。	
有効性	③ 活動指標から見る有効性 活動指標の実績は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2	5	成果向上の余地 1 / 6	
	④ 成果指標から見る有効性 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2		活動、成果、両指標は順調であるが、さらなる有効活用のための周知について検討の余地あり。	
	⑤ 事務事業の見直しの余地 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	B	1			
効率性	⑥ 事業費の削減の余地 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2	6	コスト削減の余地 0 / 6	
	⑦ 他の事務事業との統合・連携 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2		事業費に関しては、十分な検討のもと設計施工されており、無駄はない。維持管理費に関しても同様に検討の余地はない。	
	⑧ 民間委託等 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2			
公平性	⑨ 受益の偏り 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか	A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている	A	2	4	受益者負担適正化の余地 0 / 4	
	⑩ 受益者負担の見直しの余地 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2		受益は、公平、適切であり、見直の余地なし。	
現在の適性					19 / 20	改善の余地	1 / 20

【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **19** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **1** 点です。

【担当課長による評価】

当該事業の平成25年度の方向性

⇒

現状のまま継続

方向性の理由

観光客のための駐車場不足解消のため整備したが、観光客に周知されていないため、十分に活用されていない。

今後の具体的な取組み方策と狙う効果

イベント時に観光客に利用してもらえるように、PRL、駐車場の利用台数の増を図る。